

# 絵画修復家のアトリエから

加賀優記子 絵画修復家

皆さま、新年明けましておめでとうございませう。今年も良い数だとおめでたいです。それにしてもどうやら大荒れの気配のする年明けですが、大底に行ったらそのあとは上昇する、その気配をも含んだ年明けと言ふ事だと思つています。

どうぞ本年も、宜しくお願い致します。

この不況の真つ只中で、やっぱりウチの修復工房も大ピンチ！ このところ、常日頃のお客さまにもなかなかご沙汰をいただけません……。けれど、どうしたことか、考えても見えないようなお仕事ばかりが舞い込んできて、おかげさまで退屈はしていないのです。

は、私たち、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは



この絵を描く事にしました！ ハーブだけでなく、人物も3人描いてしまいます。華やかでしょう？

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは

は、私たちが、これをやるんですよねえ……。と、相方も元氣なくへらへら笑うのみ。「うん、手が痛そうだねえ……。」と、私。

うーん。なぜドバイの人はモノをガラスの箱に入れて送るのだろう、やはり未知の世界だ……。しかも保険も掛けてないなんてすごい。やっぱり宅急便屋さんなんてないんだろうな。（黒猫大和さん、進出のチャンスですよ。）

もうひとつの仕事は、修復家の私に何が来ました！ しかも、オマケつきで。

当初は、絵が掛けているうちに暗色化したので、それを直して欲しいというのとだったのに、なぜかその絵をドバイの人がガラスで出来た（!?）ケースにきちんとしてくれるので、日本に送ってくれてしまったのです。開けて、きゃあびつくり。ガラスが全部木っ端微塵に割れて、数百の刺さった破片に絵がまみれてるうう！

生まれてこの方見たことも無いような、ものすごい絵の姿でした……。キラキラで……。これは……。治すのに何ヶ月かかるのか、というか、破片を抜くのどのくらいかかるのか、想像も付かない。「はは